

接種会場の様子

職域接種について



北海道医療大学 学長 浅香 正博

2019年12月に中国で最初に発生した新型コロナウイルス感染症は世界を巻き込んで今も猛威を振っています。新型コロナウイルス感染症はWHOにおいてパンデミックに指定され、わが国では感染症法上の新型インフルエンザ等感染症に指定され厳格な管理がなされています。新型コロナウイルス感染症は呼吸器への感染が主体でインフルエンザに比して肺炎を起こしやすい特徴を有しています。飛沫感染、接触感染が主体で潜伏期は5～14日とされています。感染予防で重要なことは、3密(密閉、密集、密接)を避け、手指の消毒や手洗いを行うことです。本学は2020年3月より全学生の講義を休講として卒業式と入学式を中止する処置をとりました。学生には、通学の際、全員がマスクをすること、感染を起こしやすい通学電車内、講義室、食堂での3密を避けること、電車内で会話を避けること、大声を出さないなどの注意事項を繰り返し伝えました。

アルバイトの機会が減り、学生生活が厳しくなってきたため、本学は大学、歯科衛生士専門学校で学ぶ全ての学生に対して、オンライン授業等の学習環境整備も含めた自宅学修支援金として一律50,000円を支給しました。

今年になって新型コロナウイルスに対するワクチンがわが国でも普及、65歳以上の高齢者に各自自治体を中心になり、ワクチン接種が行われるようになりました。しかし、年齢順に行われるので学生の接種がいつになるのか見当が付きませんでした。その最中、政府がワクチンの職域接種を行うことを決め、開始

されたのが6月21日からでした。職域接種では職場ごとにワクチン接種が年齢を問わず行うことができます。その代わりに、場所を提供し、ワクチンの打ち手の確保と問診を行う医師の確保が必要となります。即、本学は参加の申し込みを行うとともに、体育館を拠点にワクチン接種の会場作りを行いました。ワクチンが確保できたため、6月21日より本学の学生・教職員にワクチン接種を開始しました。わが国の大学では最も対応が早かった一校だったので、打ち手が少ないのではないかと懸念しましたが、歯学部歯科医師に対し看護福祉学部の看護師が講師となって筋肉注射の講習会を開いてくれました。おかげで歯科医師の打ち手は90人にも達しました。ワクチンの調剤や管理は薬学部の薬剤師が担当し、問診や注射後の経過観察は医師資格を持つ教員が担当しました。本学の特色である多職種連携が存分に発揮できたのです。わが国の職域接種で最も早かったため、開始日には10社を超えるマスメディアの取材を受けました。7月9日に第1回の接種が終了し、8月6日に第2回の接種が終了しました。学生・教職員を合わせ、90%に近い接種率でした。このことにより、本学はコロナ禍からの脱出に成功する可能性が高まったといえます。今回のワクチン接種では、本学を挙げての協体制作りがうまく機能しました。記録的な猛暑の中、ご協力いただいた教職員並びに事務職員の方々には心から感謝いたします。9月を過ぎると多くのクラブ活動が再開でき、オンライン授業のみならず対面授業も合わせて行われるようになることを期待しております。

CONTENTS

職域接種について	1
教員役職者・新任教員・昇任教員等紹介	2
2021年度入試結果報告	3
国家試験結果報告	4
就職状況結果報告	5
2022年、臨床福祉学科は「福祉マネジメント学科」に名称を変更します。	6
職域接種の実施状況	7
本学のDX推進計画について	8
スポーツを支える 各学科の教員特集 Vol.1	10
OG訪問[薬学部]	11
TOPICS	12
EDITOR'S NOTE	

教員役職者・新任教員・昇任教員等紹介

新規選出教員役職者

リハビリテーション科学部長 小島 悟	歯学部 看護福祉学部	教務部副部長 伊藤 修一 教務部副部長 福岡 麻紀 学生部副部長 巻 康弘	リハビリテーション 科学部	作業療法学科長 坂上 哲可 言語聴覚療法学科長 下村 敦司 教務部副部長 浅野 雅子	リハビリテーション 科学部	学生部副部長 山口 明彦 学生部副部長 橋本 竜作
-----------------------	---------------	---	------------------	--	------------------	------------------------------

新規特任教員

薬学部 看護福祉学部	教授 井関 健 教授 向谷地 生良	リハビリテーション科学部 医療技術学部	教授 泉 唯史 教授 黒澤 隆夫	予防医療科学センター	教授 柴田 睦郎 准教授 田中 雅則
---------------	----------------------	------------------------	---------------------	------------	-----------------------

新任教員



看護福祉学部 教授
守田 玲菜 (もりた れな)
秋田大学医学部医学科卒業。北海道大学大学院医学研究科博士課程修了。北海道大学病院第3内科研修医、市立釧路総合病院病理診断科部長、イタリ国立衛生研究所レジーナエレナ国立国立研究所特別研究員、小樽市立病院病理診断科医長を経て、本学就任。医学博士。



看護福祉学部 准教授
橋本 菊次郎 (はしもと きくじろう)
北星学園大学文学部社会福祉学卒業。同大学院社会福祉学専攻修士課程修了。医療法人社団栄社会小原病院、財団法人北海道精神保健推進協会札幌市こしこ、学校法人北翔大学北翔大学准教授等を経て、本学就任。社会福祉学修士。



リハビリテーション科学部 教授
飯田 貴俊 (いいた たかし)
日本大学歯学部歯学科卒業。同大学院歯学研究科歯学専攻修士課程修了。日本大学歯学部附属歯科医歯学専攻准教授、神奈川歯科大学附属歯学全身管理高齢者歯科診療科講師、同附属歯学全身管理高齢者歯科診療科准教授等を経て、本学就任。医学博士。



リハビリテーション科学部 教授
才川 悦子 (さいかわ えつこ)
札幌医科大学医学部卒業。同医学部大学院博士課程修了。札幌医科大学耳鼻咽喉科医師、札幌道徳病院耳鼻咽喉科医師、浦川市立病院耳鼻咽喉科医師、札幌医科大学耳鼻咽喉科助教、厚別耳鼻咽喉科病院医師等を経て、本学就任。医学博士。

薬学部	助手(実務薬学(実務薬学教育研究))	山本 隆弘
歯学部	助教(口腔機能修復・再建学系(咬合再建補綴学))	高田 紗理
	助教(生体機能・病態学系(組織再建口腔外科))	堀江 尚弘
	助教(口腔構造・機能発育学系(歯科矯正学))	長崎 綾汰
	助教(口腔構造・機能発育学系(歯科矯正学))	榎並 裕美子
	助教(口腔構造・機能発育学系(小児歯科学))	榎原 さや夏
	助教(口腔構造・機能発育学系(小児歯科学))	藤田 裕介
	特別研究員(歯学研究科)	イスラム サイエドタウフ
	任期制助手(口腔機能修復・再建学系(歯周歯内治療学))	中川 詩佳
	任期制助手(口腔機能修復・再建学系(歯周歯内治療学))	柳瀬 舜佑
	任期制助手(口腔機能修復・再建学系(う蝕制御治療学))	矢嶋 拓
	任期制助手(口腔機能修復・再建学系(クラウンブリッジ・インプラント補綴学))	諏訪 涼子
	任期制助手(口腔機能修復・再建学系(デジタル歯科医学))	前島 伶依菜
	任期制助手(生体機能・病態学系(顎顔面口腔外科))	齋藤 哲朗
	任期制助手(生体機能・病態学系(高齢者・有病者歯科学))	煙山 修平
	任期制助手(口腔構造・機能発育学系(小児歯科学))	蕨輪 映里佳
看護福祉学部	助教(看護学実践基礎看護学)	山口 夕貴
リハビリテーション科学部	助教(作業療法学科)	吉田 彩華
	助教(言語聴覚療法学科)	辻村 礼央奈
国際交流推進センター	助教	エムディー リアサト ハサン

昇任教員



薬学部 教授
(衛生薬学講座(衛生化学))
浜上 尚也 (はまうえ なおや)
本学薬学部薬学科卒業。同大学院薬学研究科薬学専攻修士前期課程修了。米国カリフォルニア大学(アーバイン校)特別研究員、北海道大学大学院医学研究科客員研究員、本学薬学部助手、同講師、同准教授等を経て、教授昇任。薬学博士。



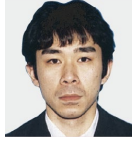
薬学部 講師
(生命物理科学講座)
佐々木 隆浩 (ささき たかひろ)
秋田大学工学資源学部環境物質工学科卒業。北海道大学大学院環境科学環境物質科学専攻修士課程修了。同大学院環境科学環境物質科学専攻修士課程修了。豊留工業大学大学院工学研究科博士研究員、本学薬学部助教等を経て、講師昇任。環境科学博士。



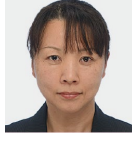
歯学部 准教授
松田 康裕 (まつだ やすひろ)
本学歯学部歯学科卒業。北海道大学大学院歯学研究科口腔医学専攻修士課程修了。北海道大学附属歯科医歯学専攻准教授、北海道大学附属歯科診療センター医員、本学歯学部口腔機能修復・再建学系う蝕制御治療学講師等を経て、准教授昇任。歯学博士。



歯学部 講師
(口腔構造・機能発育学系(保健衛生学))
植原 治 (うへはら おさむ)
本学歯学部歯学科卒業。同大学院歯学研究科博士課程修了。北海道大学病院歯科医歯学専攻同臨床助手II、The University of British Columbia Visiting Assistant Professor、本学歯学部助教等を経て、講師昇任。歯学博士。



看護福祉学部 准教授
内ヶ島 伸也 (うちがしま しんや)
本学看護福祉学部看護学卒業。同大学院看護福祉学研究科看護学専攻修士課程修了。同大学院看護福祉学研究科看護学専攻修士課程修了。医療法人社団社会福祉山病院看護師、本学看護福祉学部助手、同助教、同講師等を経て、准教授昇任。看護学博士。



看護福祉学部 准教授
熊谷 歌織 (くまがい かおり)
本学看護福祉学部看護学卒業。同大学院看護福祉学研究科看護学専攻修士課程修了。北海道大学病院看護部、本学看護福祉学部助手、同看護福祉学部助教、同看護福祉学部講師等を経て、准教授昇任。看護学修士。



看護福祉学部 准教授
福岡 麻紀 (ふくまき)
北星学園大学文学部社会福祉学卒業。北海道大学大学院教育学研究科教育学専攻修士課程修了。定山院病院医療ソーシャルワーカー、柏葉脳神経外科病院医療ソーシャルワーカー、本学看護福祉学部臨床福祉学講師等を経て、准教授昇任。教育学修士。



看護福祉学部 講師
近藤 尚也 (こんどう なおや)
北海道教育大学岩見沢校生涯教育課程社会教育コース卒業。北海道教育大学大学院教育学研究科学校教育専攻修士課程修了。社会福祉法人北翔会医療福祉センター札幌あゆみの教育生活支援員、本学看護福祉学部臨床福祉学助教等を経て、講師昇任。教育学修士。



リハビリテーション科学部 教授
坂上 哲可 (さかうえ てつよし)
日本大学法学部法律学卒業。北翔大学人間福祉学研究科人間福祉学専攻修士課程修了。札幌医科大学大学院保健医療学専攻修士課程修了。社会福祉法人北翔会医療福祉センター札幌あゆみの教育生活支援員、本学看護福祉学部臨床福祉学助教等を経て、教授昇任。作業療法学博士。



リハビリテーション科学部 教授
浅野 雅子 (あさの まさこ)
北海道大学医療技術短期大学部作業療法学科卒業。札幌医科大学保健医療学専攻修士課程修了。作業療法学専攻修士課程修了。九州大学大学院芸術工学部芸術工学専攻修士課程修了。市立室蘭総合病院リハビリテーション部門作業療法士、本学リハビリテーション科学部作業療法学科准教授等を経て、教授昇任。芸術工学博士。



リハビリテーション科学部 教授
橋本 竜作 (はしもと りゅうさく)
立命館大学文学部哲学心理学専攻卒業。東北大学大学院医学系研究科臨床科学専攻後期二年課程修了。同大学院医学系研究科臨床科学専攻後期二年課程修了。大阪医科大学大学院学術高度脳機能発達総合研究科准教授、日本学術振興会特別研究員、本学リハビリテーション科学部言語聴覚療法学科准教授等を経て、教授昇任。障害科学博士。



リハビリテーション科学部 准教授
黒崎 芳子 (くろさき よしこ)
名古屋文化学園大学医療福祉専門学校言語聴覚専攻卒業。新潟大学大学院現代社会文化研究科人間形成文化論専攻修士課程修了。岡崎市民病院リハビリテーション科言語聴覚士、本学リハビリテーション科学部言語聴覚療法学科講師等を経て、准教授昇任。学術博士。



リハビリテーション科学部 講師
鈴木 伸弥 (すずき しんや)
山形県立保健医療大学保健医療学部理学療法学科卒業。同大学院保健医療学研究科保健医療学専攻修士課程修了。東京学芸大学大学院教育学研究科学校教育専攻修士課程修了。医療法人社団協栄会さつきが丘医療理学療法士、杏林大学医学部総合生理学教室ポストドクター、本学リハビリテーション科学部理学療法学科助教等を経て、講師昇任。学術博士。



リハビリテーション科学部 講師
飯泉 智子 (いはずみ ともこ)
帝京大学文学部心理学卒業。筑波大学大学院人間総合科学研究科生体発達専攻修士課程修了。National Research Council of Canada Steacie Institute for Molecular Science 博士研究員、東京大学工学部工学研究支援員、京都大学大学院理学研究科研究員、本学医療技術学部全学教育推進センター講師等を経て、講師昇任。歯学博士。



全学教育推進センター 准教授
鈴木 喜一 (すずき よしち)
北海道大学理学部化学第二学科卒業。同大学院理学研究科化学専攻修士課程 博士課程修了。National Research Council of Canada Steacie Institute for Molecular Science 博士研究員、東京大学工学部工学研究支援員、京都大学大学院理学研究科研究員、本学医療技術学部全学教育推進センター講師等を経て、准教授昇任。理学博士。



予防医療科学センター(医科部門) 准教授
齋藤 晶理 (さいとう あきみち)
北海道大学医学部医学科卒業。同大学院医学研究科医学専攻修士課程修了。北海道大学医学部附属病院研修医、釧路市医師会病院循環器内科医員、北海道大学病院循環器内科医員、本学予防医療科学センター講師等を経て、准教授昇任。医学博士。

職務替

リハビリテーション科学部	助教(理学療法学科)	河治 勇人
--------------	------------	-------

配置替

歯学部	助教(口腔生物学系(生化学))	高井 理衣
-----	-----------------	-------

2021年度 入試 結果報告

本年度の志願者数は
4,338名

本年度入試の志願者総数は、前年比4.5%減少の4,338名となりました。志願者の最も多かった学科は看護学科880名で、次に薬学部862名という結果でした。

編入学試験の
志願総数は21名

本学全体では21名が編入学を志願しました。うち6名が入学し、実質競争倍率は3.0倍でした。

専門学校志願者の
約8割がAO入試を利用

毎年志願者の多くがAO入試を利用しています。AO入試の志願者は25名で、全体の約86%を占めました。

2021年度入試結果

		薬学部		歯学部		看護福祉学部		心理科学部	リハビリテーション科学部			医療技術学部	歯学部附属歯科 衛生士専門学校
		薬学科	歯学科	看護学科	臨床福祉 学科	臨床心理 学科	理学療法 学科	作業療法 学科	言語聴覚 療法学科	臨床検査 学科	歯科衛生科		
総合型選抜*	志願者数	25名	20名	32名	7名	13名	33名	20名	15名	42名	25名		
	受験者数	25名	20名	32名	7名	13名	33名	20名	15名	42名	25名		
	合格者数	25名	16名	10名	7名	13名	18名	14名	15名	10名	25名		
	入学者数	25名	16名	10名	7名	13名	18名	14名	15名	10名	22名		
	実質倍率	1.0倍	1.3倍	3.2倍	1.0倍	1.0倍	1.8倍	1.4倍	1.0倍	4.2倍	1.0倍		
学校推薦型選抜* (一般)	志願者数	7名	1名	48名	1名	2名	28名	6名	0名	36名	0名		
	受験者数	7名	1名	47名	1名	2名	28名	6名	0名	36名	0名		
	合格者数	7名	1名	21名	1名	2名	10名	6名	0名	12名	0名		
	入学者数	6名	0名	21名	0名	2名	10名	6名	0名	12名	0名		
	実質倍率	1.0倍	1.0倍	2.2倍	1.0倍	1.0倍	2.8倍	1.0倍	1.0倍	3.0倍	0.0倍		
学校推薦型選抜* (指定校特別)	志願者数	50名	6名	31名	15名	18名	23名	8名	29名	11名	4名		
	受験者数	50名	6名	31名	15名	18名	23名	8名	29名	11名	4名		
	合格者数	50名	6名	31名	15名	18名	23名	8名	29名	11名	4名		
	入学者数	47名	6名	29名	10名	18名	23名	8名	29名	11名	4名		
	実質倍率	1.0倍	1.0倍	1.0倍	1.0倍	1.0倍	1.0倍	1.0倍	1.0倍	1.0倍	1.0倍		
一般選抜(前期A)	志願者数	1日目	123名	32名	—	—	—	—	—	—	—	—	
		2日目	95名	36名	—	—	—	—	—	—	—	—	
	受験者数	1日目	119名	29名	—	—	—	—	—	—	—	—	
		2日目	88名	30名	—	—	—	—	—	—	—	—	
	合格者数	121名	41名	—	—	—	—	—	—	—	—		
	入学者数	35名	5名	—	—	—	—	—	—	—	—		
	実質倍率	1.7倍	1.4倍	—	—	—	—	—	—	—	—		
一般選抜(前期)* <small>※2日目には外国人留学生 特別入試を含む</small>	志願者数	1日目	140名	49名	285名	60名	91名	111名	110名	61名	119名	0名	
		2日目	111名	56名	214名	56名	81名	79名	87名	57名	90名	0名	
	受験者数	1日目	94名	28名	281名	58名	89名	109名	109名	60名	115名	0名	
		2日目	67名	35名	206名	53名	78名	75名	82名	56名	85名	0名	
	合格者数	111名	42名	124名	67名	101名	63名	81名	64名	33名	0名		
	入学者数	22名	10名	38名	10名	11名	20名	8名	3名	17名	0名		
	実質倍率	1.5倍	1.5倍	3.9倍	1.7倍	1.7倍	2.9倍	2.4倍	1.8倍	6.1倍	0.0倍		
一般選抜(後期)*	志願者数	34名	48名	34名	6名	12名	10名	5名	5名	16名	0名		
	受験者数	28名	47名	31名	5名	11名	10名	5名	4名	15名	0名		
	合格者数	12名	40名	8名	5名	11名	4名	3名	3名	7名	0名		
	入学者数	6名	7名	7名	1名	2名	4名	0名	1名	6名	0名		
	実質倍率	2.3倍	1.2倍	3.9倍	1.0倍	1.0倍	2.5倍	1.7倍	1.3倍	2.1倍	0.0倍		
共通テスト利用選抜 (前期A)	志願者数	169名	84名	150名	41名	75名	95名	82名	51名	89名	0名		
	受験者数	169名	84名	150名	41名	75名	95名	82名	51名	89名	0名		
	合格者数	162名	74名	49名	38名	72名	41名	51名	40名	14名	0名		
	入学者数	20名	4名	5名	2名	7名	15名	6名	4名	4名	0名		
	実質倍率	1.0倍	1.1倍	3.1倍	1.1倍	1.0倍	2.3倍	1.6倍	1.3倍	6.4倍	0.0倍		
共通テスト利用選抜 (前期B)	志願者数	71名	44名	76名	45名	72名	52名	61名	35名	41名	0名		
	受験者数	71名	44名	76名	45名	72名	52名	61名	35名	41名	0名		
	合格者数	66名	41名	26名	45名	71名	31名	39名	34名	7名	0名		
	入学者数	12名	3名	9名	8名	10名	8名	2名	3名	2名	0名		
	実質倍率	1.1倍	1.1倍	2.9倍	1.0倍	1.0倍	1.7倍	1.6倍	1.0倍	5.9倍	0.0倍		
共通テスト利用選抜 (後期)	志願者数	36名	27名	10名	10名	19名	19名	16名	14名	11名	0名		
	受験者数	36名	27名	10名	10名	19名	19名	16名	14名	11名	0名		
	合格者数	30名	26名	3名	10名	19名	3名	10名	14名	2名	0名		
	入学者数	5名	6名	0名	0名	3名	1名	0名	0名	0名	0名		
	実質倍率	1.2倍	1.0倍	3.3倍	1.0倍	1.0倍	6.3倍	1.6倍	1.0倍	5.5倍	0.0倍		
社会人特別選抜	志願者数	1名	1名	0名	1名	0名	0名	0名	0名	0名	0名		
	受験者数	1名	0名	0名	1名	0名	0名	0名	0名	0名	0名		
	合格者数	1名	0名	0名	1名	0名	0名	0名	0名	0名	0名		
	入学者数	1名	0名	0名	1名	0名	0名	0名	0名	0名	0名		
	実質倍率	1.0倍	1.0倍	1.0倍	1.0倍	1.0倍	1.0倍	1.0倍	1.0倍	1.0倍	1.0倍		
TOTAL	志願者数	862名	404名	880名	242名	383名	450名	395名	267名	455名	29名		
	受験者数	755名	351名	864名	236名	377名	444名	389名	264名	445名	29名		
	合格者数	585名	287名	272名	189名	307名	193名	212名	199名	96名	29名		
	入学者数	179名	57名	119名	39名	66名	99名	44名	55名	62名	26名		
	実質倍率	1.3倍	1.2倍	3.2倍	1.2倍	1.2倍	2.3倍	1.8倍	1.3倍	4.6倍	1.0倍		

※歯科衛生科 …… AO入試、推薦入試(一般・指定校特別)、一般前期入試、一般後期入試

国家試験 結果報告

各国家試験で本学卒業生が大健闘!

本学 全国平均



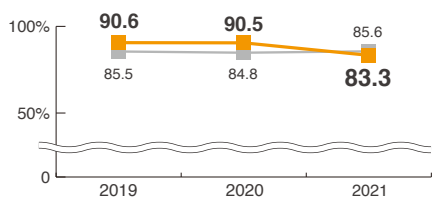
薬学部

(第106回 薬剤師国家試験)

全卒業生6,180名の96.9%が、
薬剤師免許を取得。

2021年2月、第106回薬剤師国家試験が行われました。本学からは新卒者114名が受験し、合格者は95名。合格率は83.3%となりました。なお、本学薬学部卒業生総数6,180名の96.9%にあたる5,991名が薬剤師免許を取得しています。

■ 本学合格率の推移(新卒のみ過去3年)



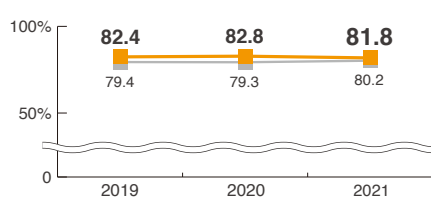
歯学部

(第114回 歯科医師国家試験)

全卒業生3,370名の98.2%が、
歯科医師免許を取得。

2021年1月、第114回歯科医師国家試験が行われました。本学からは新卒者81名が受験し、合格者は45名。合格率は81.8%となり、全国平均を上回りました。なお、本学歯学部卒業生総数3,370名のうち、98.2%にあたる3,309名が歯科医師免許を取得しています。

■ 本学合格率の推移(新卒のみ過去3年)



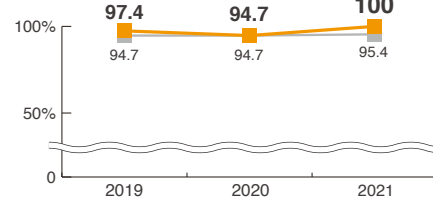
看護福祉学部/看護学科

(第110回 看護師国家試験)

100%の新卒合格率。
全卒業生の99.1%が看護師免許を取得。

2021年2月に行われた第110回看護師国家試験で、本学からは新卒者120名が受験し100%の合格率を達成しました。なお、全卒業生2,643名の99.1%にあたる2,620名が看護師免許を取得しています。

■ 本学合格率の推移(新卒のみ過去3年)



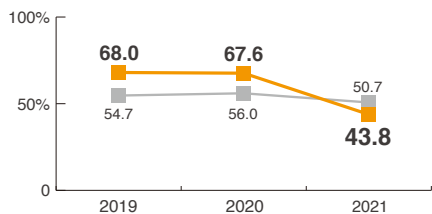
看護福祉学部/臨床福祉学科

(第33回 社会福祉士国家試験)

社会福祉士国家試験は、
長期にわたり安定した合格実績。

第33回社会福祉士国家試験の本学新卒合格率は43.8%(受験者48名、合格者21名)となりました。

■ 本学合格率の推移(新卒のみ過去3年)

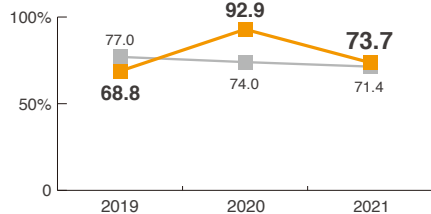


(第23回 精神保健福祉士国家試験)

合格者の多くが社会福祉士との
ダブルライセンスを取得。

第23回精神保健福祉士国家試験は73.7%(受験者19名、合格者14名)と、全国平均を上回る好成績を収めました。

■ 本学合格率の推移(新卒のみ過去3年)



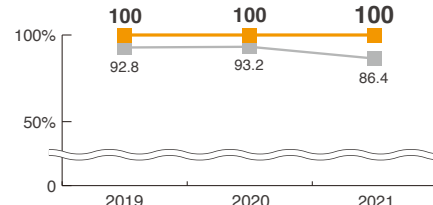
リハビリテーション科学部/理学療法学科

(第56回 理学療法士国家試験)

3年連続で、
100%の新卒合格率。

2021年2月、第56回理学療法士国家試験が行われました。本学からは、第5期生となる新卒者83名が受験し、見事全員が合格。100%の合格率を達成しました。また、免許取得率も100%。1期から5期までの全卒業生388名が理学療法士免許を取得しています。

■ 本学合格率の推移(新卒のみ過去3年)



(第33回 介護福祉士国家試験)

新卒合格率は100%。受験者全員が介護福祉士免許を取得。

第33回介護福祉士国家試験は100%(受験者3名)を達成しました。

■ 2021年合格率(新卒) **100.0%** [養成施設 全国平均72.9%]

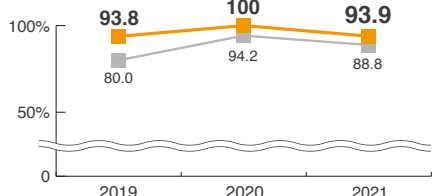
リハビリテーション科学部/作業療法学科

(第56回 作業療法士国家試験)

5年連続で、全国平均を上回る
新卒合格率を維持。

2021年2月、第56回作業療法士国家試験が行われました。本学からは第5期生となる新卒者49名が受験し、全国平均を上回る93.9%の合格率を達成しました。また、全卒業生190名の98.4%が作業療法士免許を取得しています。

■ 本学合格率の推移(新卒のみ過去3年)



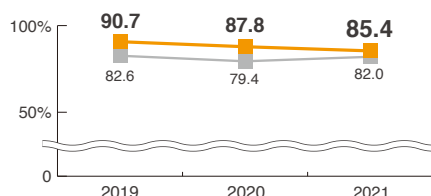
リハビリテーション科学部/言語聴覚療法学科

(第23回 言語聴覚士国家試験)

安定した合格率。全卒業生899名の
93.7%が言語聴覚士免許を取得。

2021年2月、第23回言語聴覚士国家試験が行われました。本学からは新卒者48名が受験し、合格率は85.4%でした。なお、本学科の全卒業生899名のうち、93.7%にあたる842名が言語聴覚士免許を取得しています。

■ 本学合格率の推移(新卒のみ過去3年)



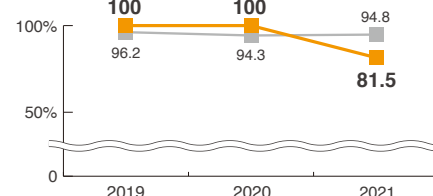
歯学部附属歯科衛生士専門学校

(第30回 歯科衛生士国家試験)

歯科衛生士国家試験は
開校以来、資格取得率99.6%!

本校卒業生は開校から2021年3月卒業の35期生まで、99.6%と高い国家資格取得率を堅持。優しい教員たちのサポートのもと仲間と支え合い、国家試験合格をめざします。本校を卒業すると「専門士」の称号が与えられます。

■ 本学合格率の推移(新卒のみ過去3年)



就職状況 結果報告

本学卒業生への評価の高さが、求人の質・量に直結。
より深い知識修得をめざし大学院へ進学する人も。

薬学部

3,000人を超える求人数。
卒業生は総合病院や調剤薬局などへ。

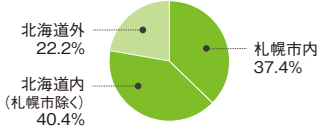
■2021年3月
卒業生の就職先

求人数	薬剤師…………… 3,563人
	MR・研究・開発職… 149人

【職種等別進路先】



【地域別進路先】



歯学部

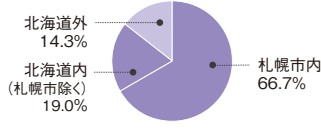
卒業後は、臨床能力の向上をめざし、
研修歯科医の道へ。

■2021年3月
卒業生の就職先

【職種等別進路先】



【地域別進路先】



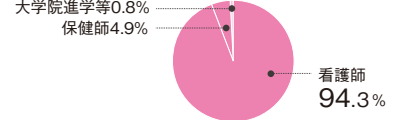
看護福祉学部 / 看護学科

札幌と首都圏を中心に、
全国の総合病院で卒業生が活躍中。

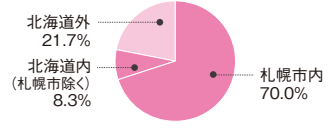
■2021年3月
卒業生の就職先

求人数	看護師…………… 9,505人
-----	-----------------

【職種等別進路先】



【地域別進路先】



※2022年度入学生から保健師コースは大学院カリキュラムに移行します。学部では受験資格を得ることができません。

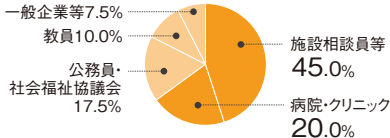
看護福祉学部 / 臨床福祉学科

施設や病院のほか、公務員、教員、
一般企業と様々な分野で活躍。

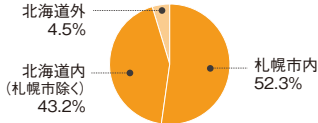
■2021年3月
卒業生の就職先

求人数	医療機関相談員…………… 139人
	福祉施設相談員…………… 2,850人
	介護職員等…………… 4,433人
	一般事務・その他…………… 4,433人

【職種等別進路先】



【地域別進路先】



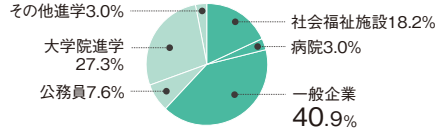
心理科学部 / 臨床心理学科

業界や業種を問わず、多彩な分野へ。
約3割が、公認心理師をめざし大学院進学。

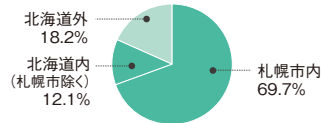
■2021年3月
卒業生の就職先

求人数	心理職…………… 154人
	一般事務・その他… 4,433人

【職種等別進路先】



【地域別進路先】



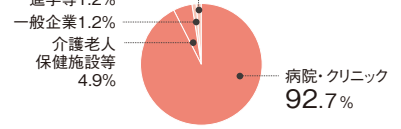
リハビリテーション科学部 / 理学療法学科

9割以上の卒業生が、
病院・クリニックへ就職。

■2021年3月
卒業生の就職先

求人数	理学療法士…………… 2,140人
-----	-------------------

【職種等別進路先】



【地域別進路先】



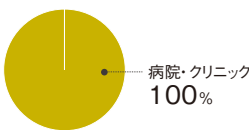
リハビリテーション科学部 / 作業療法学科

2,000人以上の求人数が寄せられ、
全員が道内の病院・クリニックへ就職。

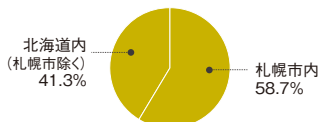
■2021年3月
卒業生の就職先

求人数	作業療法士…………… 2,084人
-----	-------------------

【職種等別進路先】



【地域別進路先】



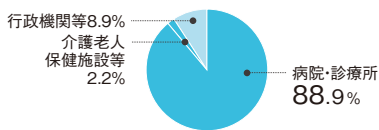
リハビリテーション科学部 / 言語聴覚療学科

約9割が、病院の言語聴覚士に。
卒業生への評価は高く、全国各地で活躍。

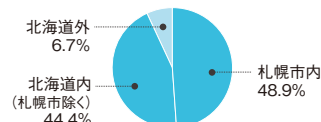
■2021年3月
卒業生の就職先

求人数	言語聴覚士…………… 1,395人
-----	-------------------

【職種等別進路先】



【地域別進路先】



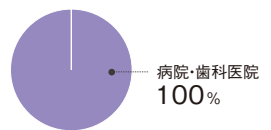
歯学部附属歯科衛生士専門学校

歯科医院を中心に
30.5倍もの求人数。

■2021年3月
卒業生の就職先
(歯科衛生士)

求人数	歯科衛生士…………… 641人
-----	-----------------

【職種等別進路先】



【地域別進路先】



2022年、臨床福祉学科は「福祉マネジメント学科」に名称を変更します。

※2022年4月、臨床福祉学科は「福祉マネジメント学科」に名称を変更予定。ただし予定であり変更となる場合があります。

さまざまな経験やスキルを生かし、「一人ひとりにより良い環境」を提供する。そのための学びを実現するのが、「福祉マネジメント学科」です。

福祉とは

「幸福」や「豊かさ」を意味する言葉。公的な配慮・サービスによって市民が等しく受けることのできる充足や、生活の安定を指します。つまり、福祉とは対象となる地域や個人によって求められる形はそれぞれなのです。

マネジメントとは

組織の運営管理を意味する言葉。主に目標設定や目標を達成するための施策、リスク管理などを指します。「福祉マネジメント」とは、専門職の枠を超え、地域のリーダーとして地域と連携し、地域住民等が主体的に新たな社会・共生社会の実現をめざすことなのです。

福祉に関わる4つのコース

スポーツ・マネジメントコース

アダプテッド・スポーツ(初級障がい者スポーツ指導員)養成に加え、地域住民のウェルネス増進のために、コーチングやマネジメント、マーケティング等に精通するリーダーを養成。

目標とする主な資格

- 社会福祉士
- 初級障がい者スポーツ指導員



ソーシャル・マネジメントコース

個人と地域社会との一体的な支援のために、ジェネリックな知識・技術等に精通するリーダーを養成。

目標とする主な資格

- 社会福祉士



メンタルヘルス・マネジメントコース

メンタルヘルス課題への対応に加え、産業保健分野における予防的な活動にも参画し得る、スペシフィックな知識・技術・価値に精通するリーダーを養成。

目標とする主な資格

- 社会福祉士
- 精神保健福祉士



ケア・マネジメントコース

ケアワークの知識・技術等に加え、チームマネジメントや実践・人材に関する運営・管理に精通するリーダーを養成。

目標とする主な資格

- 社会福祉士
- 介護福祉士



※スクールソーシャルワーカー教育課程は、ソーシャル・マネジメントコースとスポーツ・マネジメントコースで履修可能です。

教職課程 教職課程では、次の免許状が取得できます。教職課程はすべてのコースで履修可能です。

- 高等学校教諭一種免許状(公民/福祉)
- 特別支援学校教諭一種免許状*(知的障害者、肢体不自由者、病弱者)
※ソーシャル・マネジメントコースのみ履修可能。

北海道医療大学で福祉を学ぶ3つのメリット

多職種連携

様々な職種をめざす仲間とのコミュニケーションにより幅広い視野で物事を捉えられるようになる

地域連携

地域とのつながりを生かし、実践を通じて行政が求められるものを知ることができる

デジタル活用

デジタル教育の普及推進はもちろん、内製したAIを活用して学習最適化

職域接種の 実施状況

全国最速となる6月21日から 「ワクチンの職域接種」を開始。

本学では、厚生労働省、経済産業省からの要請を受けた文部科学省の案内に対応し、6月9日に「ワクチンの職域接種」の会場申請を行い、全国最速となる6月21日からワクチン接種を開始しました。

会場の設計について

接種予定数6,000名に対し、医師予診を4列、接種ブースを8列、接種後待機スペースは96名分とし、1時間当たりの接種対象者を120名とすることで安心・安全な体制で運営できると計算しました。随所にパーティションの設置や3密を避けるための適切な距離の確保等の感染予防対策を施し、体育館をU字に進む一方通行のレイアウトとしました。



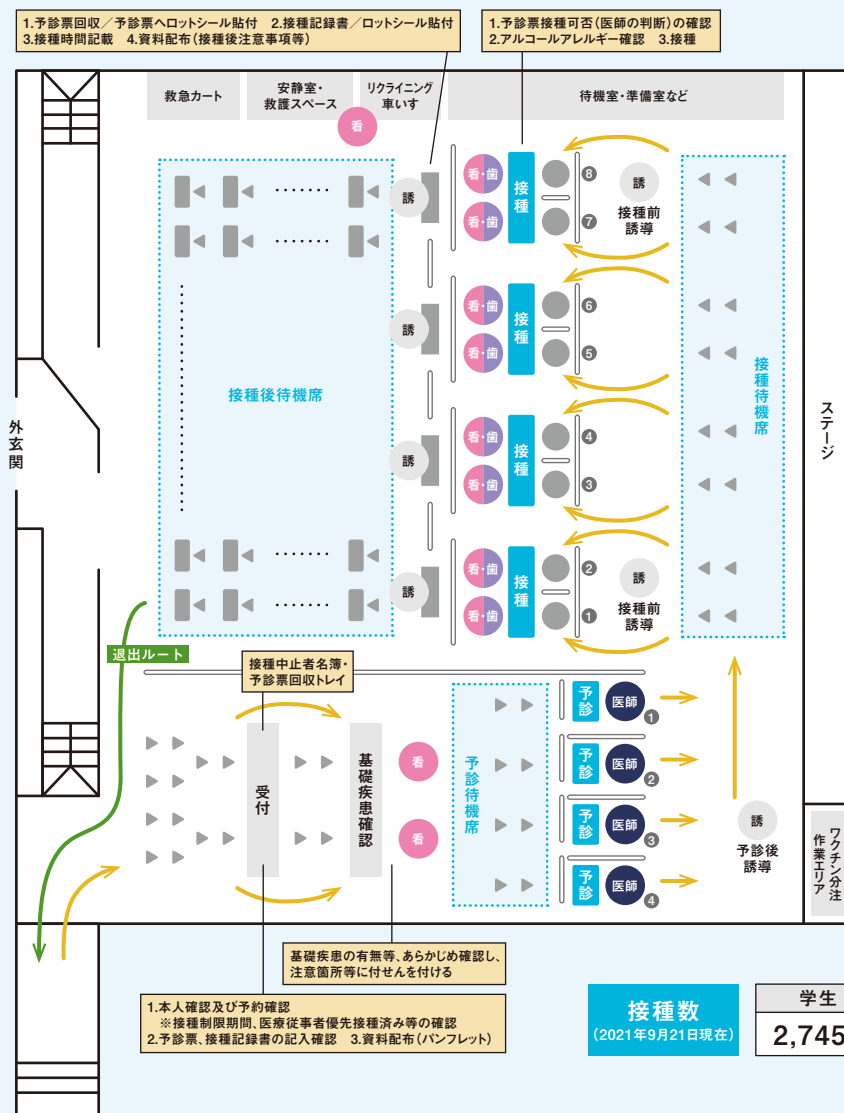
チーム医療体制について

大規模な職域接種の運営に際しては、人員の確保、会場設営、感染予防対策など検

討すべき課題は山積していますが、医療系総合大学である本学は、その特徴を生かし、オール北海道医療大学体制でこれらの課題を解決しました。医師予診担当は、学長を含む本学所属の医師が担当し、看護福祉

学部所属の看護師がワクチン接種、看護師予診、接種後健康観察を担当し、接種担当には看護福祉学部の教員により実技指導を受けた歯学部所属の歯科医師が加わりました。ワクチンの分注は薬学部所属の薬剤師が担い、体調不良者への救護所の運営には保健センター所属の医師・看護師が担当することとしました。また、会場設営、事務管理システムの構築、被接種者の受付・誘導等は事務系職員が担当することとしました。

職域接種 会場図



管理・運営体制について

全体総括責任者の下で管理運営組織を構築し、各部門に責任者を置くことで多職種連携が機能する体制としました。このような体制を敷いたことで、日々刻々と変化する状況についても各部門責任者を通じて周知することが可能となり、機能的な多職種連携体制が構築できました。

専門職が責任を持った業務の分担とそれらの連携が、安心・安全なワクチン接種会場運営の重要ポイントと捉えています。

学校法人東日本学園は、本学学生・教職員のみならず、地域の皆様が安心して毎日過ごすことができるよう、全学を挙げて引き続き新型コロナウイルス感染症予防・感染拡大防止に取り組んで参ります。ワクチン接種が順調に進み、1日も早く日常を取り戻せることを祈念します。

接種数
(2021年9月21日現在)

学生	教職員	教職員家族	その他(当別町住民など)
2,745人	273人	476人	2,421人

本学のDX推進計画について

2021年3月にDX(デジタルトランスフォーメーション)推進計画を策定した本学は、文部科学省「デジタルを活用した大学・高専教育高度化プラン」の実施校に道内の私立大学で唯一、採択されました。

推進の経緯・目標

かねてより、本学では独自の教育手法を具現化するために、15年間にわたり教育支援システムを独自に開発(内製)してきました。1行1行をすべて教員がプログラミングして開発したシステムです。システムサイズは10万行を超えるに至っています。このような大規模なシステムを内製したことで得ることができたのが、貴重な学修ビッグデータです。

DX推進計画では、学修ビッグデータを解析するAIも独自に開発し、AIが見出した新しい価値を活用することで、全学的に学生個人に最適化された教育(習熟度別学修)を実践することをめざしています。

授業などへの活用

DX推進計画に沿って、すでに、幾つかの授業ではAIの活用を進めています。例えば、全学生の講義ノート解析して、不十分なノートやレポートを提出した学生へ、どのような用語をどのように使って文章にまとめるのかをAIが支援してくれます。また、情報処理演習などの授業のなかでは、本学が内製したAIを使いながら、AIの仕組みを具体的に学べるようにしています。例えば、どういう仕組みでAIは話すことができるのか、未来を予測することができるのか、などです。AIの仕組みを学ぶことで、AIの可能性のみならず、その限界も知ることができ、AIを「上手に使いこなす」ノウハウを身に付けられるようにしています。



本学がDXを推進する3つの理由

1. Society 5.0でAIを使いこなすことができる医療人を育成するために

Society 5.0では、医療現場の情報、医療・感染情報など様々な情報を含むビッグデータをAIで解析して

- ロボットによる生活支援・話し相手などにより一人でも快適な生活を送ること
- リアルタイムの自動健康診断などでの健康促進や病気を早期発見すること
- 医療データの共有によりどこでも最適な治療を受けること
- 医療・介護現場でのロボットにより負担を軽減すること

といったことができるようになります。いま、将来の医療人に求められていることは、このような来るべき未来に備えて、AIを使いこなすことができるスキルを身に付けることです。

(参考:内閣府HP Society 5.0新たな価値の事例)



特色のある 取り組み

本学で進めているDXの特色は「学びあい」です。AIによる個別最適化教育は、学生一人ひとりの学びを支援することに大きな注目がされていますが、本学では、学生同士の「学びあい」にこそ、AIを活用しようとしています。例えば、AIが司会進行役を演じるオンライン発表会では、学生同士が互いの発表から学びあうことに興味を持ち続けながら、他者の発表を正確に分析し、評価することができるようにしています。

さらに、「学びあい」を進化させる取り組みが「学生参加型AI開発」です。学生参加型AI開発では、AIの開発に対しても、学生同士の学びあい、教員と学生との学びあいを取り入れます。これにより、学生の視点に立った学修者本位の教育ができるようなAI開発をめざします。

各学部による違い

本学DX推進計画には、学部による特徴もあります。薬学部では、文章指導や早期体験学習など演習や体験型の授業科目でもAIを活用することで、AIが見出した新しい知見から学びの刺激を得られるようにしています。歯学部やリハビリテーション科学部ではコンピューターを使った習熟度別学修ができるような準備を進めています。看護福祉学部や医療技術学部では、AIの基礎となるPythonを使ったプログラミングも導入して、論理的な思考トレーニングもできるようにしています。心理科学部では、教育用ロボットを使ったSTEM教育を実施して、自分で作ったプログラムをロボットの動作として確認するなど、興味を持ちながらデータサイエンスを学べるようにしています。

Society 5.0で 活躍できる 医療人をめざして

本学DX推進計画のもと、各学部の教育方針（ディプロマポリシー）に沿って、薬学部、歯学部、看護福祉学部、心理科学部、リハビリテーション科学部、医療技術学部の教育の特色を生かしながら、学生個人に最適化された教育を実践しています。これにより、来るべきSociety 5.0において、AIに振り回されることなく、AIを使いこなすことができる医療人の育成をめざします。

2. 学びあいによる学修者本位の 教育を提供するために

本学では、15年以上にわたり、教育支援システムやLMS(学習管理システム)を独自に開発してきました。そこに蓄積された貴重なビッグデータをAIに解析させることで、全学的に学生個人に最適化された教育を実践します。

特に力を入れているのが「学びあい」へのAIの活用です。例えば、複数の学生が同時に書き込みできるオンラインドキュメントを使ったオンライングループワークを実施しています。ここでは、グループワークの結果を解析したAIが、新しい観点からの知見を刺激として与えて、答えの定まらないような課題に対して最適な解を見出すことができるような問題発見・課題解決能力を醸成します。

3. 医療系教育のDXを 全国に推進・普及するために

本学の数理・データサイエンス・AI教育プログラム「医療系大学での学びあいと内製AIによる学修者本位の教育」が文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)プラス」に選定されました。

選定されたのは全国で11大学[※]で、医療系大学としては本学が国内で唯一の選定校となります。また、私立大学としても選定されたのは3大学となっています。

今後は、他大学等への普及・展開や産業界等社会への積極的な情報発信に努めることを使命としています。

※北海道大学、東北大学、筑波大学、千葉大学、滋賀大学、九州大学、山陽小野田市立山口東京理科大学、北海道医療大学、金沢工業大学、久留米工業大学、長岡工業高等専門学校(認定有効期限:令和8年3月31日)

スポーツ
×
障がい

医療ソーシャルワーカーに一番大切なのは、
患者さんの思いをしっかりと受け止めることです。



近藤 尚也 先生

■看護福祉学部 臨床福祉学科 講師

2014年に本学助教、2021年より講師として着任。重度障がい児・障がい者の身体活動と日常生活および余暇活動の支援を主な研究テーマとして、アダプテッド・スポーツの普及活動に携わっている。

スポーツの語源をたどると、もともとは「気分転換」などの意味を持つ言葉だったとされています。競い合ったり、より良い記録を出すことをイメージしやすいですが、スポーツが持つ本来の意義はそれだけにはとどまりません。

社会には多様な人がいます。運動が苦手な人や、障がいのある人、高齢者、小さな子ども。そうした身体能力や年齢の条件によって、スポーツを楽しむことができないのはおかしいですよね。

私は今、「アダプテッド・スポーツ」の考え方を通じたスポーツの普及に取り組んでいます。スポーツをするときには、ルールを覚えたり用具をそろえたり、スポーツに合わせて準備をしますが、これはその逆。楽しみたい人に適応(＝アダプト)させて、スポーツのルールや用具を工夫するという考え方です。パラリンピックで採用されている競技もそうですし、寝たきりの人でも楽しめるボール投げ運動なども、その考え方の一つと言えます。

昔から健康維持の方法としてスポーツは用いられてきましたが、高齢者が多くなっている現代では、介護施設や行政の中でも多様な人が参加できる取り組みへのニーズが増えてきています。SDGsや企業のCSR活動にも注目が集まっているので、社会経済活動とのつながりもきっと増えていくでしょう。

スポーツを軸とした取り組みは、もちろん未経験の人でも行うことはできますが、部活やサークルなどでスポーツをしていた人にとっては、それを強みとして、活躍できる分野だと思います。対象者に合ったスポーツを考えると、もともとのルールを知っているからこそ「崩して楽しむ」という方法が取れたり、体の動かし方を伝えるときにも、自身の体験が参考になるからです。あなたのこれまでの経験を生かし、スポーツの視点から誰もが住みやすい地域づくりを、私と一緒に学んでいきましょう。



笠師 久美子 先生

■薬学部 薬学教育推進講座 特任教授

2019年、本学特任教授として着任。医療系学部における、スポーツ医療教育の探索と検証が研究テーマ。日本アンチ・ドーピング機構の公認ドーピングコントロールオフィサー、北海道スポーツ協会のスポーツ科学委員などを歴任するほか、スポーツ国際大会での医務室勤務や海外遠征への帯同など、スポーツの現場で幅広く活動。

スポーツ
×
薬学

体の中から アスリートを支える

広島で行われたアジア大会をきっかけに、スポーツの現場でアンチ・ドーピング活動に関わるようになりました。アスリートは服用する薬をととても気にします。そして、薬剤師に相談すれば正しい答えをくれると思っています。薬剤師は、その期待に応えていく必要があるのです。薬剤師の主な仕事には、医薬品の整備や情報提供、薬の相談などがありますが、アンチ・ドーピングを広く捉えると、健康管理や栄養管理まで含まれると思います。特に海外では食事情や含有成分の違いから、薬物のような物を摂取してしまう可能性もあるため、薬剤師の介入はアスリートをサポートすることにもなるのです。

OG 訪問

北海道で初めて緩和ケア病棟の承認を受け、緩和ケアの発展を牽引してきた東札幌病院で、薬剤師として働く和泉さん。緩和ケア病棟の担当薬剤師として、さらに2019年からは薬剤部門の長として、幅広い仕事に取り組んでいる薬学部25期生です。

東札幌病院薬剤部 課長

和泉 早智子さん (薬学部薬学科2002年3月卒業、
大学院薬学研究科修士課程2004年3月修了)



■ がん患者さんの力に

学生時代のがんセンターでの病院実習がきっかけでがん患者さんの支援を志すようになったという和泉さん。就職先に選んだ東札幌病院は入院患者の約8割ががん患者、和泉さん就職の5年後にはがん専門病院の認定も受けた、がん患者のケアに長年力を注いできた病院です。和泉さんも薬剤師としてがん医療の最前線に立ってきました。

がん治療に薬剤師が大きく関わるのは抗がん剤です。目覚ましい進歩を続ける化学療法の知識をアップデートしながらの抗がん剤のミキシング(調剤)は、薬剤師が手応えを感じる仕事の一つです。和泉さんの向学心も抗がん剤に向かっていました。しかし、病棟で多くの患者さんと話をするうち、和泉さんはもう一つの大きな役割に気づきました。それは「痛み」への対処です。「わたし自身、痛みが大の苦手です。痛みをがまんする患者さんも多いですが、痛みが緩和されればQOL(クオリティ・オブ・ライフ/生活の質)は確実に高まります。抗がん剤の専門性を追求する薬剤師は多くいますが、痛みを緩和する薬の専門家も、同様に必要とされているのではないかと、それなら自分が、と思ったのです」。

■ 緩和ケアの専門性を

和泉さんは「誰にも負けないくらい緩和ケアの薬剤に詳しくなろう」と目標を定めました。緩和



和泉さん率いる薬剤部の薬剤師は総勢15人(ほか薬剤助手3人)。うち11人の薬剤師が本学卒業生です。ちなみにユニフォームは白いワンピースか、紺のパンツスタイルかを気分で。

ケアが一般の治療と違うのは、治療に向けた積極的な治療ではなく、患者さんの体や気持ちの辛さを和らげ、人生の最期までその人らしい日々を送ることに重きを置く点です。医療用麻薬を正しく使って痛みをコントロールすることが重要で、薬剤師にも高い専門性が求められます。和泉さんは2010年に認定制度が始まった緩和薬物療法認定薬剤師を翌年に取得、2019年に始まった緩和医療暫定指導薬剤師も取得、現在は、今年認定が始まった上位の資格、緩和医療専門薬剤師の取得をめざしています。

「緩和ケアの認定資格を取得してから、チーム医療の中で頼られることが増えました」と和泉さん。医師から相談を受けることも多く、知識を総動員して複数案を提示、高い専門性が患者さんにとってベストの方法を導き出す力に直結することを実感しています。「自分の知識が患者さんの役に立つ喜びは、次へのエネルギーになります」と和泉さん。頼られるほど学ぶ意欲が増し、もっと患者さんの役に立てるようにするという好循環が生まれています。



毎日の課長業務の一つが、看護課長と行う病棟設置の医療用麻薬の管理。「正しく使用すれば依存や中毒は生じないといわれますが、ご家族の誤解・不安も多いので、理解してもらうよう丁寧に説明するのも薬剤師の役割です」と和泉さん。

■ プレイングマネージャー

本学大学院修了以来、勤続18年目の和泉さん。一昨年から管理職としての役割も加わりました。課長として他の薬剤師の業務のチェックや後輩の指導、麻薬の管理をはじめ、薬の採用に関わる薬事審議会への参加、医療安全管理者としての安全対策業務など病院運営全体に関わる管理者の視点・思考が求められています。和泉さんの姿は、経験を積んだ薬剤師の一つのロールモデルです。

「患者さん、医師、看護師、他の医療職と連携して多彩なケースにあたり、様々なやりがいを感じられるのが病院薬剤師の面白さ」という和泉さん。「忙しさを言い訳にせず、知識のアップデートを怠らず、定年を迎えた時に『よく働いた!』と自分を褒められる、充実した毎日を送ろうと心がけています」。明るく放った、ずっと先の「定年」という単語に、腰の据わった和泉さんらしい仕事への愛情と覚悟がにじみ出ていました。



緩和ケア病棟では、患者さんが終末期を穏やかに過ごし、尊厳ある最期を迎えられるよう多職種が力を合わせます。患者さんの詳細な情報はもちろん、人生の大事な時間に立ち会うことへの思いも共有されています。



病棟で、全入院患者さんの内服薬を1回分ずつセット。看護師が行うことの多い業務ですが、薬剤師の目で重複や相互作用、服用できているかをチェックします。

苫小牧市との連携および協力に関する協定が締結されました

2021年7月26日(月)、本学と苫小牧市が連携・協力することについて、浅香正博学長と若岩博文苫小牧市長の署名により協定が締結されました。

これは、昨年、本学先端研究推進センターの調査研究事業が厚生労働省の社会福祉推進事業に採択され、苫小牧市が研究のフィールドの一つとなったことが契機となったもので、双方が有する資源を有効に活用し、地域福祉の増進や人材育成、学術の振興などが目的とされています。本学が自治体と連携協定を締結するのは当別町、滝川市(いずれも2013年)に続いて3件目となります。



歯学部学生がCO₂濃度測定器を開発しました

本学ではコロナ禍において学生・教職員が安心して学び、働くことができる環境を整えるために様々な取り組みを行っていますが、この度、本学歯学部3年の山下雅穂さんと歯学部教員が独自に「CO₂濃度測定機」を開発しました。

本機は設置場所のCO₂濃度と室温を常時計測し、換気の必要性について簡単にチェックできる機器です。インターネットを通じて遠隔でのモニター監視が可能となっており、現在は歯学部の全教室に設置しているほか、新型コロナウイルスワクチン接種(職域接種)会場にも設置し、換気と温度管理に役立てています。今後は他学部の教室や歯学部同窓の歯科医院等での活用も検討しています。



福祉キャリアフェスタ(就職相談会)を開催しました

2021年7月16日(金)、北海道医療大学福祉キャリアフェスタ(就職相談会)が開催されました。今回は、本学初の試みとなるオンラインでのシンポジウム方式にて開催となりました。

当日は病院・施設・官公庁・自治体等の様々な団体から人事担当者など28団体にご参加いただき、福祉職や公務員への就職を希望する学生に対して就職や業界に関する説明・相談等を行っていただきました。各団体からは趣向を凝らしたプレゼン資料や入職間もない先輩社員のお話を聞かせていただく等、参加した学生は各ブースを積極的に訪れ、真剣な表情で説明を受けていました。また、教員がファシリテーターを務めたことにより、各団体の特色が引き出され、また学生から団体へも積極的な質問が出るなど、最後まで大きな賑わいをみせていました。



神田女学園中学校高等学校との高大連携に関する協定が締結されました

2021年9月3日(金)、本学と神田女学園中学校高等学校(東京都千代田区)が高大連携することについて、浅香正博学長と宗像諭校長の署名により協定が締結されました。本学が高等学校と連携協定を締結するのは12校目となります。

神田女学園中学校高等学校では、「高度教養コース」にMTクラス(メディカルテクノロジー)を持っており、医学・薬学・看護・医療技術分野への進学を視野に、高度医療社会の中で求められる知識・教養・スキルを身につけるクラスとなっており、医療系大学との連携によって本物のキャリア形成を行うことを特徴としています。また、進学においては地元だけではなく全国を視野に入れた進路指導を目指しており、今回、北海道で6学部9学科のある医療系総合大学の本学と連携し、今後は授業等の教育活動に対する支援を中心に連携していく予定です。



EDITOR'S NOTE

在学生、教職員の方、同窓の皆様にはお変わりなくお元気で過ごされることとお喜び申し上げます。今年は7月中旬頃から最高気温が30度を超えることが多かった札幌。立秋とは名ばかりで、真夏日が連続18日と1924年の最長記録を97年ぶりに更新、熱中症搬送者は全国で2番目の多さとなりました。暑さを避けるため、東京オリンピック種目の競歩とマラソンは早朝と夕方に札幌から世界に向けて号砲が発信されました。そのような中で、7・8月対面型のオープンキャンパスは新型コロナウイルス感染拡大防止のための配慮を行った上で実施され、在学生とのライブトークなど様々なプログラムにご参加いただきました。また、「スポーツ×医療・福祉」をテーマに特別プログラムが開催され、今年大躍進の本学硬式野球部との合同企画が成功を収めました。来年度から名称変更予定となっている「福祉マネジメント学科」の「スポーツ・マネジメントコース」新設に伴い、来春はスポーツの分野から医療大学に新たな息吹がもたらされます。一方で、本学は地域住民、教育関係者や学生等へのワクチン接種の拠点施設であり、職域接種が開始されました。暑さがこもる体育館は巨大な送風機がフル稼働し、浅香学長、学部長の見守る中、たくさんの方の協力を得て連日400人を超える当別町民や大学施設関連の方に接種を行っております。新型コロナウイルスの感染急拡大に伴い、本学職員が一丸となって学生の学びを止めない取り組みをそれぞれの立場で懸命に行っております。今後も学生が安心して学生生活を過ごせるよう引き続き全力で取り組んでまいりますので、皆様の厚いご支援を宜しくお願い申し上げます。(T.S記)

ADVANCE

北海道医療大学広報誌 No.177

STAFF ● 遠藤 泰 浜上 尚也 志茂 剛 飯嶋 雅弘
内ヶ 昌伸也 中田 雅美 西郷 達雄 福田 実奈
長谷川 純子 児玉 壮志 田村 至 近藤 啓
高橋 祐輔 山形 摩紗 三浦 清志 三川 清輝
近田 卓哉

発行日 ● 2021年10月

編集・発行 ● 北海道医療大学広報部 入試広報課
〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢1757
TEL:0133-22-2113
http://www.hoku-iryu-u.ac.jp/

広報誌についてのご意見・ご要望・情報等をお待ちしています。
E-mail:nyushi@hoku-iryu-u.ac.jp



■北海道医療大学の教育理念
生命の尊重と個人の尊厳を基本として、保健と医療と福祉の連携・統合をめざす創造的な教育を推進し、確かな知識・技術と幅広く深い教養を身につけた人間性豊かな専門職業人を育成することによって地域社会ならびに国際社会に貢献することを北海道医療大学の教育理念とする。